

姫路市生涯現役推進計画 アクションプラン事業 進捗状況
(令和8年3月末現在)

施策(大分類)	総合評価					事業総数
	A評価	B評価	C評価	D評価	評価不能 (新規・廃止・中止)	
1 健康づくり	11	6	0	0	2	19
2 役割創出・社会貢献	16	13	0	0	1	30
3 学習・社会参加	22	8	1	0	3	34
計	49	27	1	0	6	83
割合(%)	59.1%	32.5%	1.2%	0.0%	7.2%	100.0%

※事業数は再掲を除く。ただし、事業の内容、指標／目標値が異なる場合は、それぞれ計上

【評価方法について】

5つの評価項目(①数値目標等達成率、②事業の参加者、利用者、受益者等の満足度、
③生涯現役推進への配慮、④情報技術の活用の有無、⑤多世代交流の有無)の評価を踏まえ
各事業を生涯現役の視点からA～Dの4段階で総合的に評価

A: 十分達成できた B: おおむね達成できた
C: あまり達成できなかった D: まったく達成できなかった

1 健康づくり
(1) 健康づくりの機会・場の充実【重点施策・健康増進事業】
① 運動する機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
1	高齢者スポーツ大会 の開催	姫路市老人クラブ会員を対象に、 スポーツ大会を開催する。	出場校区率	100%	89%	・10月28日 ウイング陸上競技場にて開催 ・グラウンドゴルフ競技（46チーム276人） ・輪投げ競技（34チーム204人）	A	グラウンドゴルフは従来より人気がある競 技であり、参加校区も多い。輪投げ競技 は選手、観客ともに非常に盛り上がるなど 参加者の満足度は高かったと考える。日 頃の練習の成果を発揮できる場として機 能しており目標を達成できた。	100%	高齢者政策課
2	生涯現役体操教室 の実施	年齢や体力を問わず、気軽に身 体を動かせる「生涯現役ガンバル ンバ体操」や、さまざまな運動を行 う教室を開催する。	定員充足率	100%	100%	・普及啓発用パンフレットの制作・配布（在庫分の配 布） ・各種講座・イベントでのデモンストレーション（0回） ・ガンバルンバ体操＆サプライズ健康教室の開催（計 20回、参加者のべ863人） ※「ガンバルンバ体操ひろめ隊」との協働により実施	A	健康教室は平均43名が参加しており、 健康教室参加者の満足度は高いと思わ れる。また、地域包括支援センターや病院 の理学療法士から体操DVDやパンフ レット配布の要望が寄せられるなど、高齢 者の健康増進に寄与できたと考える。	100%	高齢者政策課
3	市民歩こう会の実施	市内各ブロックで歩こう会を開催す る。	参加者数	500人	421人	市内4ブロックで実施（2ブロックは雨天中止） ・北中部 令和7年4月27日(日) 120人 ・南西部 令和7年5月11日(日) 101人 ・南中部 雨天中止 ・北東部 雨天中止 ・南東部 令和8年1月18日(日) 119人 ・北西部 令和8年3月8日(日) 81人	A	2ブロックが雨天中止のため数値目標は未 達となったが、幅広い年代が参加してお り、運動をする機会の提供や自発的に運 動を行う動機づくりに加え、地域のコミュニ ケーションの推進にも繋がっている。	600人	スポーツ振興室
4	地域スポーツ振興事 業の実施	スポーツクラブ21に事業の実施を 委託し、すべての校区で年間を通 して実施する。	実施校区数	71校区	70校区	・スポーツクラブ21に事業の実施を委託し、1校区を除く 全ての校区（68小学校区70クラブ）で実施 ・実施された全ての校区において、多種多様なスポーツイ ベントを行い、各校区全住民を対象に健康づくりを推進	A	歩こう会やベタンク等老若男女問わず参 加できるスポーツイベントを各校区のニーズ に合わせて開催することにより、各校区で 多くの参加者を得るとともに、校区住民の 交流を深めることができた。	71校区	スポーツ振興室
5	地域スポーツクラブの 活動支援	各校区スポーツクラブ21で構成さ れた姫路市スポーツクラブ21協議 会を通じて、クラブ相互の交流事 業を行う。	交流大会の参加 者数	800人	986人	姫路市スポーツクラブ21協議会を通じて、クラブ相互の 交流事業などを実施 ・全市交流大会（バドミントン、ペタンク、モルック、グラウ ンドゴルフ） ・ブロック交流大会	A	様々な種目のスポーツイベントを行うこと で、より多くの参加者に、より身近にスポー ツに触れ合う機会を作ることができた。	1,200人	スポーツ振興室

6	各種体育施設・健康づくり施設の運営	市民が各自の年齢や体力に応じ、気軽に健康づくりに取り組める施設を運営する。（網干健康増進センター、すこやかセンター、夢前福祉センター、総合スポーツ会館等）	利用者数 （網干健康増進センター（健康づくり施設））	155,000人	136,647人	令和7年度の年間利用者数は136,647人であった。	B	目標値以下となったが、アンケート調査等から利用者の満足度は高いためおおむね達成できたと判断。	170,000人	エコパークあぼし （網干健康増進センター）
7			利用者数 （すこやかセンター（健康づくり施設））	179,000人	142,764人	・指定管理者制度導入により、管理及び運営内容の充実 ・サービスプログラム内容の定期的更新及び内容充実 ・自主事業の充実 （自販機販売、スポーツ用品販売、かけっこ教室、ボディバランス、ゆがみ調整、呼吸コントロール、子ども運動教室、水泳教室）	B	高齢者の利用が多くみられ、また利用者の評価は概ね好評である。	179,000人	地域福祉課 （すこやかセンター（健康づくり施設））
8			利用者数 （夢前福祉センター（健康づくり施設））	63,000人	65,319人	・開館日数：306日 ・施設総利用者数：59,802人 ・健康施設利用者数：65,319人 ※延人数 ・「生涯現役」を推進する取組…ホームページ・パンフレット等による広報の実施 ・参加者の声を聴く取組…令和8年2月にアンケートを実施	A	利用者数は前年度を上回り、目標値を達成した。	65,000人	高齢者政策課 （夢前福祉センター（健康づくり施設））
9			利用者数 （総合スポーツ会館等31施設）	1,250,000人	1,270,512人	過去に新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた利用者数も以前の水準に回復し、今年度も目標値を上回る利用者数となった。 ・各体育施設の管理運営（指定管理26施設、直営施設4施設、民間体育施設一般開放事業1施設）	A	幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象に教室事業等を開催しており、継続して利用する利用者も多く、生涯現役社会の実現に向けて取り組んでいる。	130万人	スポーツ振興室 （総合スポーツ会館等31施設）
10	市民会館・地区市民センターの運営	教養講座（健康づくり・音楽・芸術等）の開設や貸館業務など、地域のコミュニティ施設として、市民会館・地区市民センター・家島交流センター（R6.10開館）を運営する。	利用率	59%	53.0%	各種教養講座のP Rや指定管理者における自主事業の実施により、利用者数の確保に努めた。 また、老朽化した備品の計画的な更新を行い、快適な施設環境改善に努めた。	B	目標数値を概ね達成することができた。また、利用者の満足度も高かった。	60%	市民活動推進課

② 科学的知見に基づいた健康づくり

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
11-1	フレイル予防アプリの活用	高齢者自身が好きなタイミングや場所で、楽しく気軽にフレイル予防や認知症予防の取り組みに参加できるフレイル予防アプリを活用する。	アプリダウンロード数・ポイント付与人数	アプリダウンロード数…4300件 ポイント付与人数…2000人	アプリダウンロード数…6315件 ポイント付与人数…6247人 ・地域包括支援センター等でのパンフレット配布によるアプリの周知・啓発 ・デジタル・ディバイド対策事業と連携し、スマホサロンやスマホ教室の参加者にアプリのダウンロード支援や操作説明を実施 ・他部署が実施するイベントの参加者にポイント付与するなど、庁内の連携を深めた	A	高齢者の健康づくりや社会参加など様々な活動に対するインセンティブとして、行動変容促すことができている。ポイントを貯めることで自然と楽しくスマートフォンを使えるようになり、高齢者の意識改革にもつながっている。	6,300件 (アプリD L数 4,300件 P t 付与人数 2,000人)	高齢者支援課

11-2	シニア健康づくり事業の実施	市内大学や民間企業等と連携し、科学的知見に基づいた効果的な健康プログラム講座の開催や健康づくりイベント等を開催する。	市内大学と連携し、科学的知見に基づいた効果的な健康プログラムを普及・啓発する。	科学的知見に基づいて考案した健康体操の啓発を行った。	令和4年度をもって終了	—	—	—	(旧)生涯現役推進室
------	---------------	--	---	----------------------------	-------------	---	---	---	------------

(2) 健康づくりに取り組む人への支援【重点施策・健康増進事業】

① 相談窓口の設置

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容			
12	介護予防普及啓発事業の実施	地域において高齢者がいつまでも元気であること(介護予防)の必要性に関する講演会や体の衰えに対する相談会を開催する。	講演会・相談会の開催回数(いきいき百歳体操を除く。)	700回	361回	・保健センター及び地域包括支援センター等による介護予防に関する講演会・教室及び相談会等の開催 ・保健センター及び地域包括支援センターによるいきいき百歳体操のグループ立ち上げ支援	B 目標は達成できなかったが、地域の場に出向き、普及啓発に取り組むことができた。	高齢者支援課
13	健康増進のための啓発・教育・相談の充実	適切な食生活や運動、禁煙、口腔の手入れ、フレイル予防等、望ましい生活習慣についての知識を普及させるため、健康教育や健康相談を実施する。	健康教育の実施回数	120回	133回	集団健康教育 133回 【内訳】・重点健康教育 27回 (一般・歯周疾患・ロコモティブシンドローム・薬等) ・その他健康教育 106回	A 参加者の満足度は高く、生活習慣病予防やフレイル予防・介護予防など、生涯現役につながる内容を啓発することができた。	保健所健康課

② 健康づくりの担い手への支援

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容			
14	食生活改善ボランティアリーダーの養成	姫路いずみ会のリーダーを養成するための講習会を開催する。	受講者数	20人	15人(修了者)	・開催回数：9回(6月～翌年2月までの各月1回) ・参加者：15人	B 教室で得た知識を日々の生活に活用しており、食に関する正しい知識を身につけることができた。教室修了者は、食生活改善ボランティアリーダーとして今後地域で活動する予定。	保健所健康課
15	高齢者向け運動指導者養成講習会の開催	地域においてスポーツを推進する指導者を対象とした講習会を開催する。	受講者数	100人	210人	・バレーボール審判講習会 5月18日(日) 73人 ・卓球バレー体験講習会 6月22日(日) 33人 ・モルック体験講習会 7月6日(日) 81人 ・スナッグゴルフ体験講習会 12月7日(日) 23人	A 数値目標を大きく達成する見込みに加え、ユニバーサルスポーツ等へ指導者の興味を引き出し、誰もがスポーツに取り組める環境づくりの推進に寄与するものであると言える。	スポーツ振興室
16	高齢者の自主的な健康づくり活動への支援	「いきいき百歳体操」を住民に提案し、地域住民が主体となった健康づくり・介護予防活動を実践できるよう支援する。	自主活動グループ数	570グループ	487グループ	・保健センター及び地域包括支援センター等による介護予防に関する講演会・教室及び相談会等の開催 ・保健センター及び地域包括支援センターによるいきいき百歳体操の新規および継続参加支援	B 目標グループ数等の達成はできていないが、徐々に参加人数は増加傾向にある。地域包括支援センターと保健センターが立ち上げ支援・継続支援に取り組んでおり、総合的に判断すると概ね目標は達成できたと思われる。	高齢者支援課 保健所健康課

③ 活動資金の支援

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
17-1	老人クラブ活動への 助成	老人クラブが実施するさまざまな活動 に対し助成を行う。 ※健康増進活動のみ抜粋	助成校区率（生涯現役地域活動 助成事業のうち、 健康増進事業）	80%	78%	健康増進活動 対象：30校区	A	地域包括支援センターなど専門分野の講師による運動指導・健康講座の開催や、 スポーツイベントを実施するなど、高齢者の健康維持や交流促進に寄与できた。	80%	高齢者政策課

（３） 健康づくりに関する意識啓発

① 情報提供や意識啓発

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
18	地域放送メディアや 動画配信を通した運動講座の実施	ケーブルテレビやインターネット動画配信を通して、高齢者向けの運動を紹介し、高齢者が自主的に健康づくりに取り組めるように支援する。	高齢者向けの運動番組を毎日放送し、多くの人が自主的に健康づくりに取り組んでいる。	多くの人が自主的に健康づくりに取り組めるよう、高齢者向けの運動動画をインターネットで配信した。	令和6年度をもって終了	—	—	—	高齢者政策課	
再掲	介護予防普及啓発事業の実施 ※No.12再掲	地域において高齢者がいつまでも元気であること（介護予防）の必要性に関する講演会や体の衰えに対する相談会を開催する。	講演会・相談会の開催回数（いきいき百歳体操を除く。）	700回	361回	・保健センター及び地域包括支援センター等による介護予防に関する講演会・教室及び相談会等の開催。 ・保健センター及び地域包括支援センターによるいきいき百歳体操のグループ立ち上げ支援	B	目標は達成できなかったが、地域の場に出向き、普及啓発に取り組むことができた。	750回	高齢者支援課
再掲	健康増進のための啓発・教育・相談の充実 ※No.13再掲	適切な食生活や運動、禁煙、口腔の手入れ、フレイル予防等、望ましい生活習慣についての知識を普及させるため、健康教育や健康相談を実施する。	健康教育の実施回数	120回	133回	集団健康教育 133回 【内訳】 ・重点健康教育 27回（一般・歯周疾患・ロコモティブシンドローム・薬等） ・その他健康教育 106回	A	参加者の満足度は高く、生活習慣病予防やフレイル予防・介護予防など、生涯現役につながる内容を啓発することができた。	140回	保健所健康課

2. 役割創出・社会貢献

(1) 社会貢献活動の機会・場の充実

① ボランティア活動の機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容						
19	見守りウォーキングの実施	日常生活の中で気軽に実施できる「ながら見守り」による地域の見守り力向上を目的とした、ボランティア登録制度を運用する。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上する。		登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、安全面の確保につながった。	ボランティア登録制度を運用し、新規で124人の登録があった。 ・募集期間 令和8年1月5日～1月28日		A	見守り活動に参加をしてもらい、地域の見守り力の向上に貢献できたため。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。	危機管理室
20	住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためのボランティア活動の充実	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように「あんしんサポーター」がボランティア活動を行う。	あんしんサポーター登録者数	810人	843人	・R7年度より7回の養成研修のうち5回を年度初めに設定。残る2回を生活支援体制整備事業などで、介護支援ボランティアが不足している地域を把握した後に、開催場所を決定し実施するように改善した。（初回5回分は広報ひめじ等を用い、残る2回はホームページ等で周知） ・姫路市民アプリ「ひめバス」の終了時期が延期されたことや、制度変更についての方針が未決定であるため情報提供・意向確認は未実施となった。		B	ボランティア活動をしたいニーズとのコーディネートが難しく、登録者に十分な活動の場を提供できていない。	900人	高齢者支援課
21	スクールヘルパー制度の推進	地域ボランティア「スクールヘルパー」が登下校時の声かけ、校内巡回等の活動を行う。	登録者数	16,000人	15,636人	・スクールヘルパーの募集 ・活動用具等の準備（安全ベスト、ヘルパーIDカード、腕章、ネックストラップ等） ・補助金振込（70校×70,000円＝4,900,000円）		A	児童数の減少、家庭環境の変化、PTA組織の見直し等の理由で登録者数の減少が想定されるが、現状として高水準を維持しているのは、「地域で子供たちを見守る」という地域の方々の思いと継続的な協力によるものと考えられる。	15,000人	健康教育課

22	各種ボランティアの活用（観光、国際交流、文化振興、美術館、文学館）	市が実施する事業・イベントに協力するボランティアを募集・活用する。	登録者数	940人	850人	・令和7年度は、第75回姫路お城まつり、第41回姫路城観桜会、第43回姫路城観月会においてイベントボランティアの募集を行い、合計38名が参加 ・令和8年3月24日には、姫路市イベントボランティアや観光ボランティアガイド、タクシー乗務員等を対象に「姫路市観光おもてなし研修会」を実施し、41名が参加 ・観光ボランティアガイド登録人数：140名	A	イベント開催にあたり、姫路市観光ボランティアへの積極的な参加募集や観光おもてなし研修会を実施し、市民によるボランティア活動の機会の拡大や今後の活動に向けた学びの機会の充実を図った。	950人	観光コンベンション室
23-1			ボランティア登録人数・養成講座参加人数	1,400人	950人	・日本語学習支援ボランティア養成講座開催（8月11日、16日、17日開催、参加者45人） ・ひめじ国際交流フェスティバル開催（10月26日開催、ボランティア参加者700人） ・通訳翻訳ボランティア（新規登録8人） ホストファミリーボランティア（新規登録13人）等随時募集	B	あらゆる世代の方々にボランティア等に参加・登録していただくことができた。	1,400人	国際戦略室
23-2			ボランティア登録人数	50人	44人	○文化ボランティア活動登録者数 ・通訳ボランティア：44人 ル・ボン国際音楽祭2025（9月27日～10月4日）	B	目標に届かなかったものの、積極的な活動により事業実施に貢献した。	50人	国際戦略室
24			ボランティアリーダーを中心に、美術館ボランティアが美術館の運営を支える重要なスタッフとして活動する。		ボランティアリーダーを中心に、美術館ボランティアが美術館の運営を支える重要なスタッフとして活動できた。	・登録ボランティアが8つの班に属して、前年度実績をベースに活動を実施 ・新規登録者募集を推進	B	ボランティアリーダーを中心に美術館の円滑な運営に寄与している。また、同活動は世代間交流の場でもあり、幅広い世代が「生涯現役」について考える機会となったとともに、高齢者の社会参画と生きがいに資することができた。	ボランティア活動の満足度を高め、美術館の運営を支える重要なスタッフとして活動している。	美術館総務課
25			1月あたりのボランティア活動人数（延べ）	70人	56人	発送作業や通年活動のほか、イベントの運営やワーキンググループ活動等を実施	A	ボランティアに過大な負担をかけることなく、学びと活躍の機会の充実に努め、活動を行うことができた。	68人	姫路文学館学芸課

（２） 社会貢献活動に取り組む人への支援【重点施策・役割就労事業】

① 相談窓口の設置

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
26	市民活動に関する相談機能の充実	ボランティアやNPO活動に関する相談を受け、活動への参加機会の拡充を図る。	相談件数	400件	240件	市民活動・ボランティアサポートセンター職員が、ボランティア団体等を中心とした市民活動に関する相談に対して個別・具体的に対応	B	相談件数は昨年度より減少したが、ボランティア活動に関する個別・具体的な相談は一定量あり、きめ細やかに対応できた。	市民活動推進課 （市民活動・ボランティアサポートセンター）

27	生涯現役推進専門員の配置	生涯現役に関する相談に応じ、活動のコーディネートを行う専門員を配置する。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えている。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えた。	・相談業務の実施（年間129件） ・情報の収集・発信 ・生涯現役人材バンクの運営 ・相談窓口設置の P R 活動	A	高齢者の多様なニーズに応えることに努め、本来の趣旨である高齢者の生涯現役に資することができた。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えている。	高齢者政策課
----	--------------	--------------------------------------	---	---	---	---	---	---	--------

② 活動への参加促進

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
28	市民活動に関する講座・研修会の開催	市民活動に対する啓発や参加促進を目的とした講座・研修会を実施する。	受講者数	120人	136人	・各種講座・研修会等の実施(5講座6回)	A	内容的に充実し、目標人数にも達した。	市民活動推進課 （市民活動・ボランティアサポートセンター）
29	地域の新しい担い手づくりの推進	自ら地域課題を見つけ、解決する力を持つ「新しい担い手」を養成するための講座等を開催する。	受講者数	30人	252人 (R3～R6累計)	令和6年度をもって終了	—	高齢者も活用できるキャッシュレス決済や、終活に関わる手続きに必要なノウハウを伝える内容の講座ができた。	高齢者政策課
再掲	食生活改善ボランティアリーダーの養成 ※No.14再掲	姫路いずみ会のリーダーを養成するための講習会を開催する。	受講者数	20人	15人（修了者）	・開催回数 9回（6月～翌年2月までの各月1回） ・参加者 15人	B	教室で得た知識を日々の生活に活用しており、食に関する正しい知識を身につけることができた。教室修了者は、食生活改善ボランティアリーダーとして今後地域で活動する予定。	保健所健康課
再掲	スポーツ指導者養成講習会の開催 ※No.15再掲	地域においてスポーツを推進する指導者を対象とした講習会を開催する。	受講者数	100人	210人	バレーボール審判講習会 5月18日(日) 73人 卓球バレー体験講習会 6月22日(日) 33人 モルック体験講習会 7月6日(日) 81人 スナッグゴルフ体験講習会 12月7日(日) 23人	A	数値目標を大きく達成する見込みに加え、ユニバーサルスポーツ等へ指導者の興味を引き出し、誰もがスポーツに取り組める環境づくりの推進に寄与するものであると言える。	スポーツ振興室
再掲	見守りウォーキングの実施 ※No.19再掲	日常生活の中で気軽に実施できる「ながら見守り」による地域の見守り力向上を目的とした、ボランティア登録制度を運用する。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、安全面の確保につながった。	ボランティア登録制度を運用し、新規で124人の登録があった。 ・募集期間 令和8年1月5日～1月28日	A	見守り活動に参加をもらい、地域の見守り力の向上に貢献できた。	登録者の活動の促進を図ることで、地域における「ながら見守り」活動が定着し、地域の見守り力が向上している。	危機管理室

③ コーディネート組織の設置

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
30	個人ボランティア登録制度の実施	ボランティアに関する情報提供を行う個人登録制度を実施する。	登録者数	450人	385人	・ボランティア募集記事を掲載した通信を毎月発送 ・センター公式SNSを運用し、ボランティア募集等に関する情報を発信	B	高齢化に伴い退会する登録者が増加傾向にある一方、新たな担い手の確保も一定数進んでいるほか、紹介できるボランティアメニューも増えつつある。	450人	市民活動推進課 （市民活動・ボランティアサポートセンター）
31-1	生涯現役人材バンクの設置	長年培った知識や経験、技術を持つ高齢者を登録し、その能力を求める市民とのマッチングを行う。	マッチング件数	60件	55件	・市民からの依頼に応じ、適した人材をマッチング ・公民館、老人クラブへの活用依頼 ・広報ひめじ、チラシ配布等による活用PR	B	目標値を達成できなかったが、活動後のアンケートで満足度が高かったため、高齢者の社会参加や生きがいづくりを促進できたと思う。	120件	高齢者政策課
32	ファミリーサポートセンター事業の充実	子育ての援助を受けたい人と援助を行いたい人を登録し、子育ての援助活動を行う。	60歳以上の提供・両方会員（子育ての援助を行う人）の数	243人	304人	・登録会員数 2,591人（R8.3.31現在） 依頼会員 1,765人、提供会員 709人（うち60歳以上304人）、両方会員 117人 ・援助活動件数 2,975件 ・事業説明会の開催（181回、268人参加） ・講習会、交流会の開催（提供会員養成講習会 2回、会員講習会 5回、会員交流会 1回） ・会員募集(広報紙、ホームページ、自治会回覧、市公式LINE等)	A	実際に活動している会員間（提供会員・両方会員と依頼者・その子ども）の結びつきは強く、双方の満足度は高い。	250人	こども支援課 （子育て情報相談室）

④ 活動資金の支援

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
33	こども見守り隊への助成	連合自治会等の団体が行う通学路の立番や防犯パトロール等の活動に対し助成する。	助成地区数	75団体	75団体	・連合自治会や市内1大学等70団体に対し、15万円を上限に助成 ・青パトに係る臨時的経費として、青パトを所有する5団体に対し、5万円を上限に助成	A	こども見守り隊の主な活動員は高齢者だが、児童や生徒への見守りを通じて交流を深める機会にもなっているため。	75団体	危機管理室
34	提案型協働事業の実施	市民と行政が協働して行う事業の提案を募集し、選定された事業に対して補助を行う。	高齢者関係の採択件数	2件	1件	4月11日～5月15日 提案募集 ・テーマ設定募集 ・自由テーマ ・地域資源活用事業 ・新規団体活動支援事業 6月22日 審査会開催 7月1日 採択団体決定（15件）	B	高齢者を対象とした事業や、高齢者が活躍できる事業については、毎年度、一定数の提案があり、関心の高い分野である。令和7年度は、目標値には至らなかったが、高齢者に関わる問題について、民間でも高い関心と危機感を持って取り組んでいただいていると実感できた。	12件 （R 3～R 8 累計）	市民活動推進課

⑤ 活動に関する情報提供

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
35	市民活動団体登録制度の実施	市民活動団体の登録制度を実施し、情報や交流機会を提供する。	登録団体数	410団体	349団体	・印刷室、活動室の利用 ・ボランティア活動に関する情報提供、相談対応、活動PR ・市内公共施設の使用料の減免 ・「ひめじdeボランティア」等の連携交流事業実施により、多様な世代に団体活動の周知や新たな担い手の確保に繋げる機会を設けた	B	高齢化等に伴う活動休止が増加する一方で、連携交流事業の実施を通じて新たな担い手の確保に繋げることができている。	420団体	市民活動推進課 （市民活動・ボランティアサポートセンター）
36	市民活動に関する情報の収集・提供	市民活動に関する情報を収集し、さまざまな媒体を活用して提供する。	市民活動ネットひめじへのアクセス数	20,000件	19,885件	・ボランティア活動やNPO活動などの市民活動に関する情報を収集し、様々な媒体を通じて情報発信することで、社会貢献活動への参加の促進を図った ・情報誌「ひめじNPO・ボランティア通信」の発行 ・市民活動ネットひめじの運営 ・facebook、Instagram、LINE、noteによる情報発信 ・ボランティアハンドブックの配布	A	SNSの利用によりフォロワー数も増え、より幅広い世代への情報発信ができている。	25,000件	市民活動推進課 （市民活動・ボランティアサポートセンター）
37	生涯現役の推進に貢献している団体の表彰	生涯現役を推進する活動を行っている団体を表彰し、その取り組みを全市に広げる。	受賞団体数	4団体	2団体	・姫路市老人クラブ連合会から推薦を受けた校区老人クラブ及び単位老人クラブを表彰 （5月30日開催の姫路市老人クラブ連合会大会にて表彰状を授与） R7実績：2団体	A	数値目標は下回ったが、生涯現役を推進する活動を熱心に行う団体を顕彰し、その活動を他の団体にも広めるという事業の目的は達成できていると考える。	24団体 （R 3～R 8 累計）	高齢者政策課

⑥ 老人クラブ活動への支援

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課	
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
38	アドバイザー派遣事業の実施	老人クラブからの要望に応じて、各老人クラブの課題解決に有効な研修等となるようアドバイザーを派遣する。	老人クラブからの要望に応じて各老人クラブの課題解決に有効な研修等となるようアドバイザーを派遣する。	令和7年度派遣回数 5回（5団体）	老人クラブからの派遣要望はなかったが、地域を代表する団体である連合自治会等から、老人クラブを含む地域団体の活性化や、高齢者を含む住民の地域活動への関わり方といった地域課題の解決のためのアドバイザー派遣依頼があったため、最適なアドバイザーを選定し、派遣した。	B	老人クラブ活動の課題の解決や活性化のために、老人クラブからの要望に応じてアドバイザーを派遣する体制を整えている。	老人クラブ活動の課題の解決や活性化のために、アドバイザーを派遣する。	市民活動推進課	
17-2	老人クラブ活動への助成	老人クラブが実施するさまざまな活動に対し助成を行う。	助成校区率（生涯現役地域活動助成事業のうち、地域活動事業）	75%	64%	・老人クラブ活動助成事業 社会奉仕活動、教養・文化活動、健康増進活動 ・老人クラブたすけあい運動推進事業 子育て支援活動、地域見守り活動に助成 ・生涯現役地域活動助成事業 地域交流活動 対象：34校区 健康増進活動 対象：30校区	A	夏季の猛暑やインフルエンザ流行の影響はあったが、本事業参加者の満足度は高く、高齢者の生きがいづくり及び地域の住民や世代間の交流を促進することができた。	80%	高齢者政策課

39	老人クラブの加入促進活動への支援	老人クラブの加入促進活動を支援する。	会員数	40,000人	28,217人	姫路市老人クラブ連合会が実施する加入促進活動に対して資金面等で援助を行った。	B	老人クラブの解散に伴い会員数は減少したが、チラシやリーフレット、機関紙を配布し、P R 活動ができた。	45,000人	高齢者政策課
40	老人憩の家整備補助事業の実施	老人クラブの活動拠点を充実させるため、備品購入費を補助する。	補助申請率	94%	92%	老人憩の家の整備充実を図るため、備品購入費を補助した（1箇所につき20万円まで） 助成数：22箇所	A	申請件数は目標値を下回ったが、実績報告に来庁した老人クラブ会長から満足の意見が多数あり、老人クラブの活発な活動を促進することができたと思う。	95%	高齢者政策課

（３）就業への支援【重点施策・役割就労事業】

① 就業機会の提供

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課		
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容					
41	高齢者の希望にあった多様な働き方の促進	高齢者の雇用に積極的な事業所を認定し、就職支援サイト「JOB播磨」に掲載するなど、高齢者と企業のマッチングを促進する。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	就労意欲のあるシニアが生涯現役で活躍できる場を広げるため、認定された事業所名を市公式ウェブサイト等で情報提供を行った。	【シニア活躍事業所】 7月～8月 事業所募集、9月 認定審査、10月 認定事業所決定・公表 【JOB播磨】 ・企業情報や求人情報の掲載 ・掲載企業数398社（令和8年3月31日現在） ※高齢者に限定したものではない ・シニア活躍事業所をJOB播磨上で紹介（掲載数：4社）	B	シニア活躍事業所として新たに2事業所を認定し、その事業所名と取組内容をPRできた。また、求人情報やシニア活躍事業所をJOB播磨上で紹介を行った。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	高齢者政策課 労働政策課	
42		ハローワーク等関係機関と連携しながら、高齢者の希望に合った多様な働き方を促進する。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。		ひめじシニア就職面接会の共催 参加事業所数：15 社 参加人数：117人 採用者数：17 人	A	働きたい高齢者に就職マッチングの機会を提供し、17人の採用につながったため。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	労働政策課	
43	シルバー人材センターへの支援	シルバー人材センター事業の活性化を支援するため、運営費等を助成する。	会員数	2,500人	2,119人	シルバー人材センター事業への助成を実施した。 会員数（令和7年度末時点） 2,119人 契約件数 14,262件、就業実人員 1,751人、就業延人員 212,077人	A	会員数が目標値には届かなかったものの、高年齢者の就業機会の確保とその福祉の増進を図り、その能力を活かした活力ある地域づくり及び生涯現役社会の推進に寄与している。	2,500人	労働政策課

② 就業に関する相談等

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
44	姫路しごと支援センター、雇用アドバイザーの活用、雇用情報の提供	姫路しごと支援センターにおいて、就職に関する相談等の支援を行う。また、雇用アドバイザーによる雇用相談や求人情報の提供を行うとともに、弁護士や社会保険労務士による労働相談を行う。	相談件数	1,000件	1,178件	・姫路しごと支援センター実績 相談件数：765件、新規登録者数：268人 カウンセリング件数：641件（オンライン含む） 就職者数：69件 セミナー参加者数：212人（就職セミナー10講座、パソコン講座9講座） ・雇用アドバイザーによる雇用相談や求人情報の提供：244件 ・弁護士、社会保険労務士による労働相談：169件 ※いずれも高齢者に限定したものではない	A	多くの市民に活用いただけた。	1,000件	労働政策課

③ 企業への働きかけ

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
45	高齢者の雇用に関する企業への働きかけ	定年の引上げや継続雇用、勤務体系の弾力化等、高齢者の雇用促進・雇用環境整備等の取り組みを企業に働きかける。	高齢者の活用・雇用促進のための環境が整備されている。		・パンフレットの窓口配布 ・高齢者雇用支援に取り組む兵庫県雇用開発協会への支援（630千円） ・高齢者を対象とした国・県の雇用助成制度の周知 ・多様な働き方推進支援事業（職場環境整備型） ・補助金の交付（8社・4,825,000円）	B	情報提供や雇用開発協会の各種活動、補助金の交付を通じ、高齢者の雇用に関する企業への働きかけが実施できている。なお、高齢者の雇用については、令和7年4月1日から65歳までの雇用確保措置が義務化されているほか、70歳までの雇用確保措置が努力義務とされている。	高齢者の活用・雇用促進のための環境が整備されている。	労働政策課
再掲	高齢者の希望にあった多様な働き方の促進 ※No.41再掲	高齢者の雇用に積極的な事業所を認定し、就職支援サイト「JOB播磨」に掲載するなど、高齢者と企業のマッチングを促進する。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	就労意欲のあるシニアが生涯現役で活躍できる場を広げるため、認定された事業所名を市公式ウェブサイト等で情報提供を行った。	【シニア活躍事業所】 7月～8月 事業所募集、9月 認定審査、10月 認定事業所決定・公表 【JOB播磨】 ・企業情報や求人情報の掲載 ・掲載企業数398社（令和8年3月31日現在） ※高齢者に限定したものではない ・シニア活躍事業所をJOB播磨上で紹介（掲載数：4社）	B	シニア活躍事業所として新たに2事業所を認定し、その事業所名と取組内容をPRできた。また、求人情報やシニア活躍事業所をJOB播磨上で紹介を行った。	働きたい高齢者が、自身の経験や能力を生かし、希望にあった仕事に就けるような仕組みが整備されている。	高齢者政策課 労働政策課

(4) 起業・開業への支援

① 起業・開業への支援

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容			
46	起業を支援する講座の充実	起業家を育成する創業・起業セミナーや起業家フォローアップセミナーを、関係機関と連携し開催する。	55歳以上の受講者数	20人	36人	・創業セミナーの開催(6月～2月) ・創業スタートセミナー(2月)	A 毎年一定数の参加者を得られており、受講者満足度も高いため、生涯現役の推進に一定の効果があったと思われる。	28人 産業振興課

3 学習・社会参加

(1) 学習活動の機会・場の充実【重点施策・学びの充実事業】

① 学習する機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価	R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容			
47	オープンカレッジの開催	市内の大学が開設する公開講座に対し支援する。	講座数	5講座	6講座	市内5大学6キャンパスで開催 ・開催時期：9～11月 ・回数：講座毎に4回程度 ・定員：各回50人程度	A すべての市内大学（6キャンパス）で講座を開催することができ、数値目標を達成した。また、高齢者が参加しやすいよう広報を行い、多くの高齢者が受講していることから、事業目標は十分達成できたものといえる。	5 講座 高等教育室
48	生涯現役応援講座の開催	生涯現役をめざして自分らしくいきいきとした生活が送れるよう応援するための講座を開催する。	定員充足率	—	令和5年度以降廃止	生涯現役応援講座「自分らしい人生のしめくり講座」として、自分らしい終末や葬儀の生前準備について学ぶ。 ※令和5年度以降廃止	—	男女共同参画推進センター
49	高齢者消費者被害防止講座の開催	高齢者を対象にした市政出前講座を実施し、最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリングオフ制度などの知識を深めてもらい、消費者被害等の防止を図る。	講座回数	45回	47回	・最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリング・オフ制度等について出前講座を実施 ・生涯学習大学校において、高齢者や身近で見守る人を対象とした「高齢者消費者被害防止講座～クレジットカードの仕組みと賢い使い方」を9月に開催 ・出前講座：46回、参加数：1,816人 ・高齢者消費者被害防止講座：9月24日、参加数：46人	A 消費者トラブルの未然・拡大防止の啓発を積極的に実施することができた。	50回 消費生活センター
50	農業体験研修事業の実施	農業の多様な担い手を育成する農業研修「ひめじ帰農塾」と、市政出前講座などを活用した栽培講座「ひめじ楽園塾」、また研修修了生から栽培指導ボランティア「ひめじアグリダー」を育成する。	受講者数	1,040人	1,703人	○「ひめじ帰農塾」 講座部門 ・座学コース 67人 実習部門 ・野菜コース 12人 ・果樹コース 13人 ・花苗コース 10人 ○「ひめじ楽園塾」 全54回開催 1,601人 (市民対象の栽培講習会、出前講座含む)	A 本センターで実施している農業体験研修事業においては、年齢問わず農業や園芸の学習する機会を提供できている	座学コース 60人 野菜、果樹、花苗・鉢花コース 各10人 ひめじ楽園塾 1,000人 農業振興センター

51	市民教養講座の開催	歴史講座、現代社会講座を開催する。	受講者数	1,900人	1,675人	(1)歴史講座 4コース 各8回、定員 1,418人 (2)現代社会講座 1コース 5回開催、定員 257人	A	受講者数も多く、平均出席率もおおむね7割の水準にあることから、受講者の満足度は高いと思われる。	1,900人	生涯学習課
52	公民館活動の充実	教養講座、地域講座、文化講座の充実を図る。	受講者数	400,000人	387,267人	・地域の生活課題や生活文化に密着した講座、文学や歴史、高齢者対象の講座を企画・実施するなど、地域ニーズを把握し、学習機会を提供 (参加人数は新型コロナの影響で減少していたが、徐々にコロナ禍前の水準に戻りつつある) ・教養講座 1,044回、参加人数 33,399人 ・地域講座 4,840回、参加人数 78,473人 ・文化講座 35,313回 参加人数 275,395人	A	各公民館において地域ニーズや地域課題を把握し、公民館事業に取り入れ、企画・実施することができたと評価している。	480,000人	市民活動推進課

② 生涯学習大学校・好古学園大学校の充実

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
53	生涯学習大学校活動の充実	生涯学習大学校講座の充実を図る。	在籍者数	2,500人	1,834人	本科 1年 1,379人 2年 455人 合計 1,834人	A	講座による定員充足率に違いはあるが、学生のニーズに応じて毎年講座の見直しを行いながら、生涯にわたって幅広い知識を得たいという学習意欲に応えることができた。	2,000人	生涯学習大学校
54	好古学園大学校活動の充実	好古学園大学校講座の充実を図る。	在籍者数	1,850人	1,564人	学習意欲が盛んな60歳以上の者を対象に、専門講座と教養講座を開催 (1) 専門講座 ・大学課程（4年制）：8学科・9教科 13クラス ・大学院課程（2年制）：8学科・9教科 13クラス (2) 学年別教養講座 大学課程・大学院課程各学年 1 回 計6回 (3) 全学教養講座 年6回 その他…クラブ活動（12クラブ）、学校行事（合同芸能発表会・音楽会・学園祭）等	A	学生らは授業やクラブ活動などに意欲的に取り組む者が多く、本大学校は学習する機会・場を提供するとともに、高齢者の出会いや外出機会を促進し、生きがいづくりに寄与しているため。	1,850人	好古学園大学校

③ 展示会、発表会の開催

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
55	高齢者作品展の開催	60歳以上の市民による絵画、書、工芸等の作品展を開催する。	出展作品数	390点	237点	開催期間 令和7年8月21日～8月24日 会場 姫路市民ギャラリー（イーグレひめじ地下1階） 出展数 237点 来場者数 1,239人	A	昨年度に引き続き出展作品数の目標値は下回ったものの、出展者や来場者の満足度は高く、継続開催への期待が大きい。また、このような趣味活動の成果を披露する場を設けることで、高齢者の趣味活動に対するモチベーション維持に寄与していると考えられる。	150点 ※会場変更により目標値を変更	高齢者政策課

56	高齢者芸能発表会の開催	60歳以上の市民グループによる音楽やダンス等の発表会を開催する。	出演グループ数	53グループ	26グループ	開催日 令和8年2月6日（金） 会場 姫路市市民会館大ホール 出演 26グループ、363人（実数） 演目 舞踊、体操、コーラス等	A	校区老人クラブの解散や、出演者の高齢化により、老人クラブの参加率が低下したものの、老人クラブ以外からの参加もあった。また、アンケート調査において参加者の満足度は高く、高齢者の日頃の趣味活動の成果を発揮できる場として機能しており目標を達成できた。	60グループ	高齢者政策課
----	-------------	----------------------------------	---------	--------	--------	---	---	--	--------	--------

（２）学習活動に取り組む人への支援

① 相談窓口の設置

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
再掲	生涯現役推進専門員の配置 ※No.27再掲	生涯現役に関する相談に応じ、活動のコーディネートを行う専門員を配置する。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えている。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えた。	・相談業務の実施（年間129件） ・情報の収集・発信 ・生涯現役人材バンクの運営 ・相談窓口設置のP R 活動	A	高齢者の多様なニーズに応えることに努め、本来の趣旨である高齢者の生涯現役に資することができた。	生涯現役に関する講演活動のほか、相談内容に応じた情報提供や関係機関の紹介など、生涯現役で過ごすための支援が行えている。	高齢者政策課

② 学習成果を生かす機会の提供

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
57	市民農園・レクリエーションファームの充実	市民農園・レクリエーションファームの充実を図る。	入園率	83%	80%	(1)市民農園 ・仁色ふるさと農園 33%(67/202) ・南恒屋ふれあい農園 60%(61/101) ・林田チャレンジ農園 78%(28/36) (2)レクリエーションファーム ・開園数 37園（協議会26 以外10） ・入園率（協議会） 95.6%(713.4/746.6)	B	概ね計画通り実施し、学習活動の機会を継続して提供することが出来たため。	90%	農政総務課
31-2	生涯現役人材バンクの設置	長年培った知識や経験、技術を持つ高齢者を登録し、その能力を求める市民とのマッチングを行う。	登録件数	85件	52件	・登録件数 52件 ・新規登録件数 4件、登録取消件数 0件 ・市内出先機関に人材バンクパンフレット及び人材リストを設置、市公式ウェブサイトにも掲載	C	広報ひめじやイベント時のチラシ配布によりP Rを行い、新規登録件数は4件と昨年より増加したものの、目標値を上回ることができなかった。	150件	高齢者政策課

(3) 情報の活用

① 総合的な情報提供

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
58	インターネットによる情報提供	生涯現役に関する情報を総合的に提供するポータルサイト「生涯現役ネットひめじ」を運営する。	アクセス数	53,000件	33,156件	生涯現役に関する必要な情報を「生涯現役ネットひめじ」へ随時更新を行った。	A	インターネット環境で、必要な情報を適宜更新することで、生涯現役に関する情報提供ができたと考える。	— ※生涯現役ネットを廃止	高齢者政策課
59	啓発パンフレットによる情報提供	生涯現役に役立つ事業を紹介する冊子を作成し、配布する。	市の事業を紹介する冊子を配布、活用してもらい、市民の生涯学習や社会参加が促進されている。		令和5年度以降廃止	「生涯現役応援ハンドブック」は令和4年度をもって廃止し、「高齢者のくらしの福祉」への掲載で代替することとした。	—		—	(旧)生涯現役推進室
60	コミュニティFM放送の活用	コミュニティFM放送を活用し、生涯現役に活躍する人の紹介や、生涯現役に関する情報を提供する。	出演回数	12回	12回	・コミュニティFM放送 「飛び出せ！まちの元気人」のゲストとして、毎月1回生涯現役な人を出演させ、日頃の活動や生涯現役の秘訣を語ってもらった。（毎月1回、年12回）	A	教養講座の講師や生涯現役で活躍する方々の活躍をラジオを通じて多くの市民の方に発信し、高齢者に対して生涯現役の意識啓発を行うことができた。	— ※番組再編により廃止	高齢者政策課
78	地域情報掲示板サービスによるフレイルや認知症予防の推進	高齢者の地域コミュニティへの参加を促し、フレイルや認知症予防のさらなる強化や、社会的孤立の解消を図るため、身近な地域で行われる活動やイベントに関する情報を閲覧できるデジタルサービスを導入	閲覧回数	投稿団体数 5団体 閲覧回数 24,000件	・投稿団体数 51団体 ・投稿数 72件 ・閲覧回数 28,222件	全市版の「ひめまっぷ」のサービスを開始するとともに、各地域包括支援センターや自治会等と打合せを重ね、地域版ひめまっぷを3か所開始することができた。 ・家島地区「いえしまっぷ」 ・大津地区「おおつまっぷ」 ・野里地区「野里noひろば」	A	投稿団体数及び閲覧回数の目標を達成し、満足度は一定程度得ていると思われるため、概ね達成できたと思われる。	20団体 72,000件	高齢者支援課

② 情報格差の解消

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
61	地域活動担い手パソコン講座の実施 ※ R 6 からNo.29に統合	地域活動担い手のためのパソコン講座を実施する。	受講者数	—	—	初心者のためのパソコン講座 (R 3 ～ R 5 累計 64人) ※ R 6 からNo.29に統合	—	—	—	(旧)生涯現役推進室
62	生涯学習大学のパソコン講座等の充実	生涯学習大学のパソコン講座等の充実を図る。	参加者数	216人	227人	・本科 89人（基礎30人、応用30人、夜間基礎16人、夜間応用13人） ・短期パソコン講座 64人（入門10人、ワード24人、エクセル30人） ・パソコン指導者養成講座 19人 ・スマホ講座 55人 ※R8年度より短期講座を廃止	A	パソコン指導者養成講座は、応募者が減少傾向にあるが、短期パソコン講座は学びたいソフトごとの講座になっており、受講者の満足度は高かった。	96人	生涯学習大学校

63	好古学園大学校スマホ講座等の開催	好古学園大学校の教養講座において、情報格差の解消に繋がる講座を開催する。	定員充足率	80%	100%	スマートフォン等が親しみやすくして便利な道具と感じられるような講座とし、基礎編と実践編を企画し実施する。 ・基礎編 7月16日 参加者253人 ・実践編 8月25日（2回）、9月1日 参加者45人	A	情報検索や写真・動画撮影のみならず、近年発達が目覚ましい生成 A I の活用に至るまで、暮らしに不可欠な存在となっているスマートフォンの基本操作を学ぶことができた。	80%	好古学園大学校
64-1	デジタル・ディバイド対策の実施	スマホ操作に慣れていない高齢者を対象にスマホサロン・スマホ教室等を重点的に実施し、デジタル・ディバイドの解消を図るとともに、初めてスマホを所持する高齢者に対し新規契約時にポイントを付与する。	延べ利用者数	7,940人	9,771人	・スマホ教室 開催数286回 参加者延3,250人 ・スマホサロン 開催数154回 参加者延3,416人 ・スマホよろず相談 開催数242回 参加者延3,105人	A	延べ利用者数の目標値を達成し、継続利用者も多いことから、高齢者のニーズにあった事業である。	7,940人	高齢者支援課
64-2	公民館デジタル・ディバイド対策講座の開催	公民館でデジタル・ディバイド対策講座を開催し、情報格差の解消に繋げる。	講座の実施回数	100回	2,547回	スマートフォン講座など、教養・文化・地域講座含めて、2,547回実施した。	A	数値目標を十分に達成できた考える。	100回	市民活動推進課
再掲	高齢者消費者被害防止講座の開催 ※No.49再掲	高齢者を対象にした市政出前講座を実施し、最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリングオフ制度などの知識を深めてもらい、消費者被害等の防止を図る。	講座回数	45回	47回	・最新の相談事例や契約の知識、悪質商法の手口、クーリング・オフ制度等について出前講座を実施 ・生涯学習大学校において、高齢者や身近で見守る人を対象とした「高齢者消費者被害防止講座～クレジットカードの仕組みと賢い使い方」を9月に開催 ・出前講座：46回、参加数：1,816人 ・高齢者消費者被害防止講座：9月24日、参加数：46人	A	高齢者に消費者トラブルの未然・拡大防止の啓発を多方面で実施できた。	50回	消費生活センター

（４）社会参加への促進

① 交流する機会・場の充実

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
65	高齢者交流施設の 運営	高齢者の教養向上、健康増進、 レクリエーションのため、香寺いきが いセンター、家島宮老人の家他 3 施設を運営する。	利用者数	5,600人	1,917人	利用件数及び利用者数 ・香寺いきがいセンター 319件／1,917人 ※開館は4月～9月の半年間、R8.9.1施設廃止	A	目標を達成することができた。	— ※廃止	高齢者政策課

66	老人福祉センター等の運営	高齢者の教養向上、健康増進、レクリエーションのため、老人福祉センター等を運営する。	利用者数 (楽寿園)	44,500人 (楽寿園)	41,513人 (楽寿園)	【楽寿園】 ・開園日 月～土曜日(祝日、年末年始を除く。) ・教養講座 校区登園日に開催 ・健康相談 毎週月曜日に実施 ・利用人数 41,513人 【家島老人福祉センター】(R6.8廃止) 【香寺健康福祉センター】(R6.3廃止)	A	校区登園や教養講座を実施するなど、健康の増進や教養の向上に資することができた。	49,000人	高齢者政策課 (楽寿園)
67			利用者数 (すこやかセンター (老人福祉センター))	80,000人	61,328人	・校区登園 (登園日：183回・登園者数：6,919人) ・教養講座の開催 (実施回数：168回) ・健康リズム体操教室、すっきり体操教室、呼吸法教室等の開催(実施：168回・登園者数：6,923人) ・認知症チェック教室の実施 ・落語の会の実施 ・図書の貸出(貸出冊数：240冊)	B	熱心な利用者も多く、満足度は高い。	80,000人	地域福祉課 (すこやかセンター (老人福祉センター))
68			利用者数 (夢前福祉センター(老人福祉支援施設))	6,000人	3,460人	・開館日数 306日 ・施設総利用者数 59,802人 ・老人福祉支援施設利用者数 3,460人 ・「生涯現役」を推進する取組…ホームページ・パンフレット等による広報の実施 ・参加者の声を聴く取組…2月にアンケートを実施	B	利用者数の回復が遅れている。	6,000人	高齢者政策課 (夢前福祉センター (老人福祉支援室))
再掲	市民会館・地区市民センターの運営 ※No.10再掲	教養講座(健康づくり・音楽・芸術等)の開設や貸館業務など、地域のコミュニティ施設として、市民会館・地区市民センター・家島交流センター(R6.10開館)を運営する。	利用率	59%	53.0%	各種教養講座のPRや指定管理者における自主事業の実施により、利用者数の確保に努めた。 また、老朽化した備品の計画的な更新を行い、快適な施設環境改善に努めた。	B	目標数値を概ね達成することができた。また、利用者の満足度も高かった。	60%	市民活動推進課

② 社会的孤立の防止と地域支え合い活動の推進

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績			生涯現役の視点からの総合評価		R 8 (後期最終年度) 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標	実績値 又は 達成状況	内容				
69	ひとり暮らし高齢者へのふれあい食事サービスの実施	地域の高齢者のふれあい・交流を深め孤独感を解消し、生きがいの高揚を図るため、昼食を提供する。	ひとり暮らし高齢者等に対し食生活の改善を図るほか、地域とのふれあいに根差して、感染対策を徹底した上で、引き続き継続していく。	ひとり暮らしの高齢者に対し給食を届けたり、一堂に会して食事をしたりする機会の提供を行った。	【実施地区】 71地区 【実施回数】 1,117回 【延参加人数】 59,031人 【参加者数】 4,895人	B	事業の目的である、ひとり暮らし高齢者等に対し食生活の改善を図るほか、地域とのふれあいについて、概ね実現できているため。	地域の高齢者の食生活が改善され、地域の人とのふれあい・交流が深まり、ひとり暮らし高齢者の孤独感が解消され、生きがいの高揚が実現されている。	高齢者政策課

70	認知症サロンの充実	認知症の人であるか否かに関わらず、地域の高齢者が自由に通うことができる「認知症サロン」を支援する。	認知症サロン数	105グループ	102グループ	認知症サロンにおいて地域包括支援センター介入のもとフレイルチェック票および必要者に認知症の気づきチェックリストの実施・受診支援を行った。 認知症サロングループ数 102か所(R8.3.31時点) R7参加人数 3170人	B	担い手不足等で目標数値には届かなかったものの、地域包括支援センターの支援を受けて各グループで工夫して認知症サロンの活動ができています。また、認知症の方の参加や相談も地域包括支援センターの支援を受けて実施できています。	118グループ	高齢者支援課
71	認知症サポーターの養成	地域や職域において認知症の人やその家族を支援する「認知症サポーター」を養成する。	認知症サポーター数	55,000人（累計）	56,145人（累計）	・認知症サポーター養成講座を80回開催し、3,913人の養成を行った。 ・小学校で16回、中学校で14回、高校で3回、大学・専門学校等で1回の認知症サポーター養成講座を開催し、10代の受講者が増加した。 ・キャラバン・メイト研修を7名が受講し、新規登録した。 ・「認知症の日」啓発の一環として市主催で認知症サポーター養成講座を実施し97人が受講。 ・ステップアップ研修を実施し、27名が受講、うち新たにチームオレンジとして5名の個人登録があった。	B	サポーター養成数は目標を達成できた。	60,000人（累計）	高齢者支援課
72	地域包括支援センターの充実	体の衰えや地域での暮らしに不安のある高齢者に対し、地域包括支援センターが相談・支援を行う。	生活支援に関する地域課題を関係者間で共有できる		地域課題について、関係者間で共有することができた	・地域ケア個別会議 ケアマネジメント力向上会議 24回/年 地域支えあい会議 121件 自立支援ケア検討会議 16件 ・準基幹地域包括支援センターは、管轄圏域の地域課題の抽出分析を行い課題解決策を関係機関とともに検討 ・基幹型地域包括支援センターを設置し、地域包括支援センター活動の後方支援や技術的助言を実施 ・業務が適切に行い高齢者への円滑な支援が行えるように担当圏域ごとの専門職の配置が適切に行われているか定期的に確認 ・高齢者に対する相談支援が適切に行われているかを実地指導や第三者評価により確認	A	計画どおり実施できた。	地域包括ケアシステムの中核機関として、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにマネジメントを行うことができています。	高齢者支援課
73	終活支援事業の実施	人生の最期に自身の意思が尊重されるよう、ひとり暮らしの高齢者等を対象に、緊急連絡先等の登録や、葬儀・納骨に関する相談先の情報提供を行う。	相談回数	相談件数 50件 登録件数 10件	相談件数 67件 登録件数 12件	・予約制の相談体制を整え、相談者も職員も十分な時間を確保することができた ・予約制のため職員2名で相談を行い、相談業務を充実させた ・R7年度は20回の出前講座を実施し、事業周知に努めた	A	相談者の不安を整理することから丁寧に相談を続け、多くの方から、「相談して良かった」との意見をいただくことができた。	相談件数 100件 登録件数 20件	高齢者支援課
再掲	高齢者の自主的な健康づくり活動への支援 ※No.16再掲	「いきいき百歳体操」を住民に提案し、地域住民が主体となった健康づくり・介護予防活動を実践できるよう支援する。	自主活動グループ数	570グループ	487グループ	・保健センター及び地域包括支援センター等による介護予防に関する講演会・教室及び相談会等の開催 ・保健センター及び地域包括支援センターによるいきいき百歳体操の新規および継続参加支援	B	目標グループ数等の達成はできていないが、徐々に参加人数は増加傾向にある。地域包括支援センターと保健センターが立ち上げ支援・継続支援に取り組んでおり、総合的に判断すると概ね目標は達成できたと思われる。	600グループ	高齢者支援課 保健所健康課

③ 高齢者の外出促進

No.	事業名	事業概要	R 7 事業実績				生涯現役の視点からの総合評価		R 8（後期最終年度） 目標値 又は 達成目標	担当課
			指標／目標値 又は 達成目標		実績値 又は 達成状況	内容				
74	高齢者交通安全教室の開催	参加体験型の学習を通して、交通安全意識の向上を図る。	受講者数	4,500人	2,125人	令和7年度は年間50回の高齢者交通安全教室を開催し、延べ2,125人が参加	A	関係機関と連携・協力し、交通事故防止の再認識を促しているため。	6,600人	危機管理室
75	公共交通のバリアフリー化の推進	高齢者・障害者等に配慮した公共交通のバリアフリー化を推進する。	事業者の申請に応じて公共交通バリアフリー化への補助を行い、公共交通のバリアフリー化を促進して、利用者の利便性を向上させる。		・事業者から申請のあったノンステップバス8台について購入補助を実施 ・京口駅については、事業が完了し補助を行った ・西飾磨駅については、交付決定するも、事業を繰り越した	・ノンステップバス購入経費の補助 神姫バス 8台（大型4台・中型4台） ・鉄道駅舎バリアフリー化工事の補助 JR・京口駅	B	令和7年度は、事業者からの申請が計画より少なかったものの、ノンステップバス導入について補助を行い、バリアフリー化の促進、高齢者や障害者等が容易に利用できる交通環境の実現を図ることができた。京口駅についてバリアフリー化工事が完了し、利便性の向上及びすべての人が容易に利用できる交通環境の整備を行った。また、西飾磨駅については補助金の交付には至らなかったが、R8年度末完成に向け工事を進めた。	公共交通のバリアフリー化に要する費用の一部を助成することで、バリアフリー化を促進し、高齢者や障害者を含むすべての人が公共交通を容易に利用できるようになっている。	地域公共交通課 鉄道駅周辺整備課
76	高齢者福祉優待カードの交付	65歳以上の市民を対象に、市内の12施設が無料になる優待カードを交付する。	延べ利用者数	82,000人	73,798人	・交付枚数 7,647枚 ・延べ利用者数 73,798人	B	延べ利用者数の目標値には届いていないが、満足度は一定程度得ていると思われる。	82,000人	高齢者支援課
77	高齢者バス等優待乗車助成事業の実施	75歳以上の市民を対象に、バス、鉄道、船舶、タクシー（タクシーは要介護2から5の人のみ）のうち、いずれか1つの交通機関の優待乗車券を交付する。 ※令和6年度9月末で鉄道は廃止、タクシーの要介護要件は撤廃	事業を継続して実施することで、高齢者の外出を促進し、高齢者の社会参加と生きがいづくりに資することができている。		タクシー助成の利用者が増加し、前年度も80%以上の高い交付率であったにも関わらず、さらに交付率を上げることができた。	【交付実績】（令和8年3月31日現在） 対象者数 76,831人 交付者数 66,467人 バス 27,913人 船舶 954人 タクシー 37,600人 交付率 86.5%	A	前年度を上回る高い交付率を維持し、高齢者の外出を促進し、高齢者の社会参加と生きがいづくりに資することができた。	事業を継続して実施することで、高齢者の外出を促進し、高齢者の社会参加と生きがいづくりに資することができている。	高齢者支援課